

重大建設 園区の工事建設

自然と共生する持続キャンパス—南科実中高校部

南科実中高校部は景観大道の建設をキャンパスの軸にして、第1期工事が2009年12月に完成し、それには事務教学ビル2棟、職務並びに生徒宿舍1棟、及び屋外運動場1面、バスケットボールコート3面、バレーボールコート4面、テニスコート2面及び景観歩道等の関連する公共施設が含まれ、すでに黄金級グリーン建築候補証書を取得しています。第2期工事は2010年6月に完成する予定で、完成した場合は9項目のグリーン建築指標が通過してダイヤモンド級のグリーン建設を取得することになり、南科実中が自然生態と共生する持続キャンパスになります。

休憩と教育の機能を発揮、台南園区西側入り口景観工事が完工

台南園区「2期基地西側入り口意匠及び西北エリアE1洪水調節池公園景観工事」が2009年6月に完工し、この工事は園区西北隅に位置し、国道1号線の安定インターチェンジから台南園区に入る主要な西側入り口門戸として、「環境保護エネルギー節減、科学技術教育の発展、環境と共栄」の意匠があり、自然、人文、科学技術との連結を自然、文化、科学技術が融合した休憩スペースで現しています。空間の属性が多くの「水」であるため、「水立方の旅」を結びつけて、「水と科学技術」、「人と水の相互交流」、「水の驚き」の三大軸を地景環境と景観施設に融合させ、休憩機能を提供し、合わせて教育的意義をも賦与しています。

高雄園区第2期標準工場が完工

多くの業者の需要を満足させるため、2009年8月に完成した高雄園区第2期標準工場は、内部空間を32ユニットに区画しています。各ユニットの室内面積は約500㎡(そのうちの8ユニットの面積は約1,000㎡)で、地下1階が駐車場、1～5階が工場及び事務室のスペースです。北隣の国道1号線連絡道は、第1期標準工場と共に地域の総力を結集するパワーがあり、高雄園区にさらに大きな効果をもたらします。

台南園区第2期基地汚水処理場第1期工事が完工

この工事は2006年12月4日に始まり、2009年9月11日に正式に完工し、第1期基地汚水処理場と結び付いて、将来は台南園区に1日当たり平均130,000トンの汚水処理量を提供するので、園区全体の汚水処理効率を向上させます。

台南園区のブロードバンド・パイプライン設置工事が完成

台南園区のブロードバンド・パイプライン設置工事は内政部営建署の補助を受け、2006年度より始め、4年に分けて設置しました。2008年度のブロードバンド・パイプライン設置工事範囲は西拉雅(シラヤ)大道以南の支線道路で全長20km、2009年1月19日に完工しています。台南園区内の業者にブロードバンド・サービスを提供します。また、街路灯、交通標識、園区内監視システム、園区洪水防止警報システム、インテリジェンス型運輸システム、及びe政府等のその他弱電パイプライン類にも配慮する必要があり、2008年度設置工事は内政部営建署の評価で、全国都会型の第1位になりました。2009年度設置工事には台南園区第2期基地電信パイプラインのサブパイプ敷設(パイプライン全長約18km)及び第1期基地八つの橋梁の現有パイプラインへの保護施設補充、南科南北路のブロードバンド・パイプラインのハンドホール内への銘板設置及び支柱等が含まれ、2009年10月2日に完工しました。



台南園区2008年度ブロードバンド・パイプ新設工事完工